

お客様各位

2026年2月20日  
株式会社清原光学  
株式会社クリスタル光学  
黒崎播磨株式会社  
株式会社戸畑製作所  
テラスペース株式会社

## 超小型衛星「TATARA-1R」搭載用、宇宙望遠鏡の引き渡し完了 ～国内5社の技術を結集した実証機、2月25日の打ち上げに向け最終段階へ～

テラスペース株式会社（以下「テラスペース」）、株式会社清原光学（以下「清原光学」）、黒崎播磨株式会社（以下「黒崎播磨」）、株式会社戸畑製作所（以下「戸畑製作所」）および株式会社クリスタル光学（以下「クリスタル光学」）の5社は、共同で開発・製造を進めてまいりました「マイコンカメラ用宇宙望遠鏡」を完成させ、搭載先である70キロ級超小型衛星「TATARA-1R」への搭載および射場でのスペースワン株式会社への衛星引き渡しを2月11日に完了したことをお知らせいたします。

本望遠鏡を搭載した「TATARA-1R」は、2026年2月25日にスペースポート紀伊（和歌山県串本町）より、スペースワン株式会社の「カイロスロケット3号機」にて打ち上げられる予定です。

### ■ 本プロジェクトの目的と共同開発の経緯

本ミッションは、テラスペースが提供する「ホステッドペイロードサービス」を活用した実証実験です。清原光学を主幹事としテラスペースと搭載契約を締結し、国内企業が持つ独自の先端素材・加工技術を統合した「宇宙望遠鏡」の開発を目指しました。

過酷な宇宙環境における各社の独自素材の有効性を検証し、将来の人工衛星および成層圏通信プラットフォーム（HAPS）への利活用、および日本の宇宙産業における素材活用の促進を目指します。

### ■ 共同開発した宇宙望遠鏡の技術的特長

本宇宙望遠鏡には、各社の強みである以下の素材・技術が採用されています。

- **清原光学・クリスタル光学**：両社が培ってきたオールアルミニウム製宇宙望遠鏡モデルの技術をベースに、本ミッション向けのリモデルおよび組み立て調整を担当。
- **黒崎播磨**：望遠鏡の心臓部である主鏡および副鏡部に、極めて熱膨張が小さい**低熱膨張セラミックス「NEXCERA®」**を採用。
- **戸畑製作所**：鏡筒およびカメラマウント部に、軽量かつ高強度な**難燃性マグネシウム合金**を採用。
- **テラスペース**：衛星プラットフォームの提供、および打ち上げから軌道投入までのミッションマネジメントを担当。

### ■ 打ち上げ概要

- 打ち上げ予定日：2026年2月25日（水）
- 射場：スペースポート紀伊（和歌山県串本町・那智勝浦町）
- 打ち上げ機体：カイロスロケット3号機
- 搭載衛星：70キロ級超小型衛星「TATARA-1R」

本宇宙望遠鏡の軌道上での実証成功により、より高精度かつ低コストな宇宙機ソリューションの提供に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

各社の広報担当窓口、またはテラスペース株式会社までお問い合わせください。



カイロス3号機ロゴ



ロケット搭載の様子



衛星ミッションバッジ



TATARA-1R 衛星



宇宙望遠鏡ミッションバッジ



宇宙望遠鏡